

函館市の姉妹都市ウラジオストクー日ロの文化人が往来した街

1 ロシアと日本との関係歴史の輪郭を描いて

- ・両国の住民の初接触と初対面の好奇心から湧いた興味
- ・日本人漂流民 — デンベイ、ゴンザ、ソーザ

2 隣国間の関心事に由来した情報収集事始め

- ・ペテルブルグにて日本学校開設
- ・帰国がかなった幸太夫、磯吉、小市（日本到着後根室で死亡）
- ・桂川甫周の「北槎聞略」は「露学事始め」
- ・ロシアから派遣された使節団：ラクスマン、レザノフ、プチャーチン
- ・ゴロヴニン事件

3 ロシア極東における日本語教育及び日本におけるロシア研究の始まり

- ・隣国間の本質的な交流の草分け函館
- ・ロシア人旅行者による日本回想記
- ・政治経済協力の発足：通商・友好条約など

4 両国間の文化人の交流

- ・当初ロシアに留学した日本人
- ・日本文化へのロシア文学の影響

- ・日本人ロシア学者:二葉亭四迷、小西増太郎、瀬沼恪三郎、瀬沼夏葉、昇曙夢など
- ・東京外国語学校:ロシア語の先生メチニコフ、コスティリョフなど

5 ウラジオストクと日本人文化人

- ・ロシア極東大学
- ・ウラジオストクと縁のある日本人とロシア人
- ・二葉亭四迷、与謝野 晶子、瀬沼 夏葉、函館(日本)で初めて生まれたロシア人マトベーフ、小説家のピリニャク、盲目詩人エロシエンコなど